

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第303回

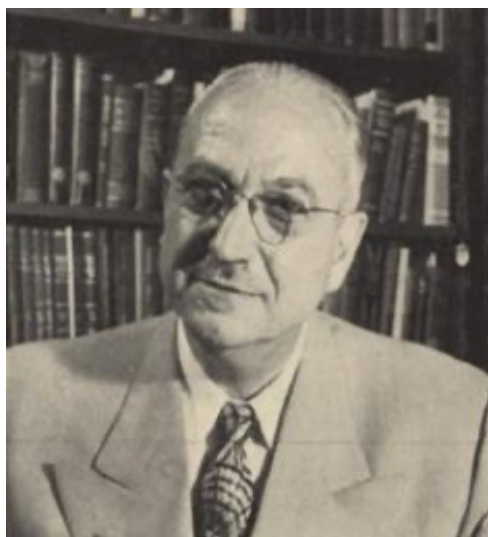
カール・メニンガー

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和4年4月19日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

Love cures people – both the ones
who give it and the ones
who receive it.

愛は、人々を癒します。愛を与える人と、
その愛を受け取る人の両方を。

カール・オーガスタス・メニンガーは、アメリカの医学者、精神科医、精神分析家。カンザス州トピカに医者の子として生まれる。ウォッシュバーン大学、ウィスコンシン大学を経て、ハーバード大学医学課程を卒業する。インターンするとき、精神医学に興味をもち、アーネスト・サザードのもとで精神医学を研究する。

Column

このコラムでも何度となく『愛』の重要性を述べてきました。目に見えるものではなく“感じるもの”ですから、よくわからない部分もありますが、逆に目に見えないからこそハッキリとわかる部分でもあると思います。今回の言葉にあるように、愛を与える側も受け取る側も癒やすということは、人は愛を常に持っていて、常に使う準備ができていくということがわかります。

みなさんのこれまでを思い出してみてください。人から受ける愛情に対して毎回癒やされたり素直に愛情を持って返すことができたでしょうか。『毎回ではない』と答える人がほとんどだと思います。それはなぜでしょう。そこにはやはり“気分”があるからだと思います。日々の生活の中で私たちは様々な出来事に遭遇します。その時に抱いた感情によって素直になれない時も当然あります。心の片隅には『自分のためにしてくれていること』と理解はしているものの、グッと堪えて受け止めることが難しい時も多々あります。『それが人だよ』という諦めのような気持ちと『人だからこそ』という理想を追い求めたい気持ちの両方があります。また、与える（発信する）側にも気をつけたいことがあります。『あなたのためだ』と良かれと思って愛を持って伝えたつもりが自分の考えを押し付けているだけだったということに気づかず、受け止めてくれない相手のことを否定的に捉えてしまうことです。“歪んだ愛”などと評されることもあります。そういう悲しい結末を生まないためにも、愛には愛で返すことができる素晴らしい人間関係を構築していく意味でも、人と人との“コミュニケーション”を大切にしたいと改めて感じました。今回の言葉はそんなコミュニケーションがしっかりと取れていることが前提での言葉なのかもしれませんね。お互いが癒やしの存在だと言えるような仲間を正智深谷高校で作ってください！